

## 各地の話題

## 七ヶ宿町



2021年4月23日号掲載

### 中山間地域で ～一流の牛飼いの夢に向かって～

安藤直樹さん(25)は生まれ育った七ヶ宿町で2018年7月肉用牛繁殖経営を開始。翌年2月1日には5年間の町青年等就農計画の認定を受けた。

安藤さんは、宮城県柴田農林高等学校を経て宮城県農業大学校を卒業。卒業後は美里町で繁殖牛飼養管理などを1年間研修し、現在、自宅で肉用牛繁殖の経営をしている。



一流の牛飼いを目指したきっかけは、「幼いころ和牛の繁殖経営を行っていた祖父の姿を見て、絶対に俺もやりたいと思い、農業の道に足を踏み入れた」と話す。

経営開始当初は、成牛3頭、子牛1頭から始まり、翌年には成牛14頭、子牛4頭、現在では、成牛15頭、子牛10頭と経営規模を着実に拡大してきた。

安藤さんは、「本格的な農業を始めて3年になるが、今後も牛舎を新築するなど更なる規模拡大を目指したい。また、耕作放棄地なども有効活用し経営コストを削減する取り組みもしていきたい」と語る。

安藤さんは、町でも希少な肉用牛繁殖経営の担い手として、今後、中山間地域農業の発展に繋がる活動が期待されている。

【記事提供：七ヶ宿町農業委員会】